

あとがき

「富士」は、当初大日蓮誌上に連載されましたものをまとめて、昭和三十年一月一日大日蓮編集室の取扱いにて第一巻が発行され、続いて第二巻の刊行をみました。が、以来早くも二十年近い年月をけみして今日に至りました。信徒にとりましては、日蓮大聖人様の御一生のあゆみを正しく知るために、大いに役立って参ったのであります。

著者であられます

大東院日明贈上人は、宗門にとりましては、昭和十七年本宗宗会議員御当選以来、布教師、参議等を歴任、昭和三十一年には宗務院庶務部長に任ぜられ、同三十四年十一月に宗務総監を拝命せられ、管長貌下を補佐し奉り、退任後は本宗布教師会会

長として、更には富士学林長、寺族同心会会長、監正会会長等に就任せられ、その御功績の程は讃嘆のほかはございません。

御尊能師は、昭和四十八年十二月十三日安祥として御遷化されたのでありますが、それより先に、法華講連合会東京地方部長岩井福次郎氏を御招きになられ、早瀬日慈御尊能師の格別の御配慮もありまして

このたび、その後大日蓮誌上に掲載された分をあわせて、装丁も新たに全五巻として、日蓮正宗法華講連合会大白法編集室より発刊致すこととなりました。謹而経緯をしるしておきます。

昭和四十九年五月五日

日蓮正宗法華講連合会委員長代行

佐藤悦三郎